

開催日時	平成26年3月26日（水）午後7時30分～午後8時50分		
会場	白岩 上野公民館	出席者数	36人
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）			
<p>① まずは、御礼を述べたい。みやま橋宮内線の舗装工事をしていただきありがとうございました。火の見やぐら、警鐘台2か所を撤去して、防災スピーカーも整備してもらった。</p> <p>昨年の7月の豪雨の被害の際には、市道、歩道も水が氾濫する中、危機管理室、建設管理課、農林課、総務課からも来てもらい、日夜頑張ってもらった。特に土嚢500袋を準備してもらい、民家などへの浸水を防ぐことが出来た。湯沢の沢の河川2か所の復旧工事や水路への土砂4か所の排除をしてもらった。</p> <p>その後、建設管理課への要望書を提出しているが、また、災害があるかもしれないので、土砂がたまる箇所があるので、その工事もなるべく早くお願いしたい。</p> <p>また、国道の北側が拡幅されるが、国や土地改良区へも対応してもらった。自主防災組織を拡充し、安全安心な地域づくりの検討に入っているが、危機管理室からも教えてもらいながら取り組んでいきたいのでよろしくお願いします。</p> <p>→ 被害が多かったのはこちらの地区。8月、12月、水害、災害関係の要望をもらって、意を体して整備していきたい。当座の改修については出来るだけしていくが、また同じような、もっと激しい雨が来た場合、抜本的な対策が必要である。砂防ダムの下流であり、県とも相談して一緒になって対応していく。引き続き努力したい。</p> <p>② 国道拡幅の話だが、北側だけでなく南側もやれないか。私の家の前の道路が変形の交差点で見通しが悪く事故が起きている。今回の整備にあわせて市の方からも力添えをお願いしたい。</p> <p>→ 市道の取り付けの要望について、市として国の方に設計案を作ってもらっている。国と調整して考えていきたい。</p> <p>③ 亀ヶ沢のところ、前は除雪してもらっていなかったところを、昨年12月から除雪してもらって、受益者から喜ばれている。（御礼）</p> <p>④ 上野公民館について、平成26年度に公民館耐震補強事業補助をいただいて耐震工事をする事になった。感謝申し上げる。（御礼）</p> <p>⑤ LED防犯灯は学校の近くから順次設置すると聞いている。地区としても全部</p>			

を一気に交換するのではなく、少しずつ交換してもらいたい。

→ 他（の地区）も何年かに分けて設置して欲しいということのようだ。一気にLEDに替えると次の更新の際は地元負担になるので、何回かに分けて設置して欲しいということだと思う。お話をお聞きして、分けていく事になると思う。

⑥ 平成26年度の予算で「自主防災組織育成事業補助金」の内容を教えて欲しい。

→ 新たに自主防災組織をつくる場所への補助金で、すでにある地域には、「地域防災力強化支援事業補助金」が活用できる。防災マップづくりとか講習会の開催、訓練などへの支援措置。要望があれば、危機管理室へ声を出していただきたい。

⑦ 普通、震災の際は公民館が避難場所になっているが、上野公民館は古い。避難場所には適さない。危機管理室からは、上野地区民は、公民館以外の場所へ避難するように指示して欲しい。

→ 地元／耐震工事をするので震度7まで大丈夫。

市 / 基本的には、この地区の避難場所は、しらいわ保育所、白岩小学校、老人福祉センターとなっている。

地元 / 1次には公民館で。2次としては、保育所、小学校、老人福祉センターでいいのでは。耐震工事は10月頃には完成させたい。

⑧ カヌー場が出来たが、狭くて全力でゴールしてもすぐに急ブレーキをかけなければならないとの声を聴く。

→ カヌー競技は1000メートルの距離もある。カヌー場は600メートルなので、500メートルの競技は出来るが、スタートにも少し余裕をとる必要があり、ゴールの後も余裕をとると短いということになる。場所的には難しかった、それより余計とれないということもあったが、西川町の寒河江ダムは、大雨が降ると使えなくなるので、大会を寒河江市のカヌー場に移したのも何回かあって、重宝がられている。練習会場にもなる。国体では、カヌーは山形県の得点源。カヌーの施設は、西村山に集中している。カヌー人口を増やすには適している。山の上まで行かなくてもいい。宿泊施設も近くにある。競技の練習だけでなく、親水空間になっている。いろんな活用をしていきたい。

⑨ 合併浄化槽の補助金があり、この地域でも申込者が増えているが、スムーズに配水管工事が進むのかお聞きしたい。

→ 合併浄化槽の市町村設置型の制度が3年目になって希望者も増えてきた。流す水路の未整備のところは整備をしながら進めていく必要がある。住民の皆さんの

要望を聞きながら、それに沿って整備を進めていきたい。合併浄化槽は補助制度の中で実施しており、年間60基となっているが、要望が増えてきているので県を通して、追加をしていき要望に沿う形でやっていきたい。

⑩ 平成26年度の予算の中で「慈恩寺国史跡指定総合調査事業」と「慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画推進事業」があるが、指定の進捗状況も含めて教えてほしい。

→ 慈恩寺は寒河江が誇る「宝」。国の史跡指定を受けるべく文化庁に申請している。国の審査会で早ければ6月頃に指定がなるのではないかと期待している。指定なったからといってすぐに何かなるということではなく、指定になるということは市民にとって喜ばしいことであり、国に認めてもらったということで誇りにして、慈恩寺の魅力を外に広めていく取り組みをしていく必要がある。指定になると制約を受けるものもあるが、われわれは平泉の中尊寺に匹敵する歴史的な価値のあるものと考えているので、長期的なスパンで整備をしてきたい。整備してするために、「悠久の魅力」向上基本計画をつくってもらうこととした。山の奥まで修験道があり、昔の図面もあるので今風に整備していく。今は本堂と三重塔くらいしか見るところは整備されていないが、上の方も上物を整備し、遊歩道の整備をして歩けるようにしたい。1～2年で出来るものでなく10年くらい少なくともかかるのではないかと考えている。今年はデステネーションキャンペーンなので、下の駐車場が舗装になっていないので舗装していく。国から一千万円の予算をつけてもらったので、案内所やガイドの整備をしたい。6月から秘仏公開もあるので間に合うようにしたい。

⑪ ドクターヘリの臨時離着陸場（ランデブーポイント）を建設業技能安全センター駐車場に指定してもらって、地域としても安心しております。

→ 市立病院も医師不足なので、救急でも受けられない場合があり、皆様の期待にまだまだ添えていない。救急の場合はドクターヘリを呼ぶ方が早い。最初に、ドクターヘリを導入した時は、もっと遠いところに行くものと思っていたが、運行回数の1/4は西村山郡である。5分で来るとの情報がある。庄内は山がある。冬は飛べない。夜は飛べない。西村山郡から強い要請があるので来ているようだ。西村山郡の人はドクターヘリを重宝している。

⑫ 地域座談会は、市長の在任中にまた（上野に）来るのか。来るのなら楽しみにしている。

→ 平成28年3月まで予定があるが、上野は入っていない。今年の4月10日（木）は宮内公民館、その後は楯、留場、幸生と回っていく。他の地域でも構わないので、質問があれば参加していただきたい。

⑬ 高齢者福祉事業はまあまあ満足。手厚くなっている。子育て支援事業の医療費の無料化が小学校6年生までなので、中学生までにしてほしい。少子高齢化のために子育て支援をもっとしてほしい。子育てしやすい環境づくりをお願いしたい。

→ 医療費の無料化については10月から中学3年生まで拡大していく。子育て支援として、医療費の無料化など経済的な支援の他に、子育てしやすい環境整備、保育所、学童保育の整備も必要。「いつでも保育」・・休日も保育できるようなどは今はないですが、新年度からは1~2か所をつくっていきたい。学童保育も昨年、高松に「せせらぎクラブ」をつくったが、10名から24名まで増えた。三泉、醍醐は学童保育がないので、4月から醍醐はバスで高松へ。三泉はバスで西根へと行けるようにしていく。

また、女性の方が安心して働けるような環境も大事。男女共同参画の計画をつくり、企業の方にも理解してもらい、女性が、出産、育児、職場へ復帰できるようにトータルで充実させていきたい。

⑭ 平成26年度の予算で、さくらんぼ関係の補助が多いが具体的に教えてほしい。

→ ハウスをつくる補助。他に、紅秀峰は寒河江で生まれた品種で、園芸試験場でつくられた。手間がかかるので、農作業の負担軽減のための補助制度もある。輸出試験事業は、台湾の百貨店で紅秀峰の販売を実施する。去年は好評だった。さくらんぼへのこだわりは、市民アンケートからの声を反映している。

⑮ 西川町からのエリアメールが入る。寒河江市はどうなっているのか。

→ 今は、ドコモ、au、ソフトバンクのすべてに入っている。去年の豪雨水害の時はドコモだけだったが、現在はすべてに入っている。

⑯ さくらんぼは東根市に負けないように頑張してほしい。東根市は最初の頃は「チェリーマラソン」とか言っていたが、いつのまにか「さくらんぼマラソン」を名乗り、有名選手も呼んでいる。負けないように頑張してほしい。

→ ウサギとカメみたいになっている。寒河江市がウサギで、寝ている隙にカメ（東根市）から追い抜かれた。市民のみなさんからはしょっちゅう言われているが市役所職員は感じていないようなので、それでは困っている。反省すべきところは反省し、今年は「さくらんぼマラソン大会」も会場を変更し、屋内多目的運動場から発着し、参加人数も増やせる方向でだんだんとやっていきたい。

⑰ ダムの放水の放送は良く聞こえる。防災無線による広報を、それらの放送設備を利用できないものか。

→ 防災無線は、いろんな箇所につけ、すべての人に聞こえるようにするものと理解していただきたい。川の沿線の人だけでなく、別の場所においても聞こえるような設備であります。また、こちらの情報をあちらにお知らせし、あちらの情報を教えてもらい、皆さんにお知らせするということもあるかもしれません。